

みずほマーケット・トピック(2015年3月13日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

3. 本日のトピック:米国はどこまでユーロ安を許容するのか~試される「強いドルは国益」~

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ BK Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- ・今週のドル/円相場は2007年7月以来の高値まで上昇後は揉み合い。週初9日に120円台後半でオープン後、先週末に米国株が大きく下落した流れを受けて日経平均株価も寄り付きから下げると週安値となる120.62円まで弱含んだ。しかし、本邦輸入勢のドル需要などから下げ渋り、日経平均株価が下げ幅を縮小したことやNYダウ平均の反発を受けてドル/円は121円台前半で堅調となった。翌10日はフィッシャー・ダラス連銀総裁のタカ派な発言が意識されると、昨年高値の121.86円を上抜け、一気に週高値となる122.04円まで上昇。だが、株安地合いにユーロ/円が下落したほか、米大統領経済諮問委員会(CEA)のファーマン委員長が「強いドルは米経済に吹き付ける向かい風」と述べたことが材料視され、121円割れまで急反落した。11日は前日の米国株安にもかかわらず日経平均株価が上昇する展開にドル/円は反発し、米金利の上昇も相俟って121円台後半まで上昇したが、12日はユーロ/ドルにショートカバーが入ったことからドル/円も反落。米2月小売売上高が予想を大幅に下回ると、一時120円台後半まで値を落とした。その後は、小売売上高の悪化は歴史的な厳寒の影響との割り切りで通過し、本日にかけて121円台前半を回復して推移している。
- ・今週のユーロ/ドル相場は 2003 年 3 月以来の安値を更新。週初 9 日は 1.08 台前半でオープン後、この日から ECB が量的緩和(QE)を開始したもののユーロ売りとはならず、ポジション調整から一旦週高値となる 1.0906 まで上昇した。買い一巡後は再び欧米の金融政策格差が意識されて上値重く推移。10 日は世界的な株安を背景にユーロ/円が下落する動きにユーロ/ドルも 1.07 割れとなり、翌 11 日も流れは変わらず、独長期金利が一段と低下する中、ユーロ/ドルは 1.0550 のサポートを下抜けて 1.0511 まで下落した。12 日には 1.05 割れて 1.0494 と約 12 年ぶりの安値を更新したが勢いはなく、達成感からショートカバーが強まり 1.06 台前半まで急反発。その後、米 2 月小売売上高の結果を受けたドル売りに 1.06 台後半まで上昇するも、このレベルでは戻り売り意欲も強く、本日にかけて 1.06 台前半での推移となっている。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末		今	週	
		3/6(Fri)	3/9(Mon)	3/10(Tue)	3/11(Wed)	3/12(Thu)
ドル/円	東京9:00	120.07	120.74	121.43	121.06	121.42
	High	121.29	121.41	122.04	121.63	121.67
	Low	119.90	120.62	120.92	120.85	120.66
	NY 17:00	120.84	121.15	121.14	121.46	121.26
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1032	1.0845	1.0837	1.0707	1.0549
	High	1.1033	1.0906	1.0855	1.0718	1.0684
	Low	1.0839	1.0822	1.0693	1.0511	1.0494
	NY 17:00	1.0846	1.0853	1.0698	1.0547	1.0634
ユーロ/円	東京9:00	132.44	130.92	131.58	129.60	128.09
	High	132.50	131.80	131.87	129.95	129.03
	Low	130.90	130.71	129.48	127.64	127.67
	NY 17:00	130.97	131.45	129.58	128.08	128.91
日経平均株品	Б	18,971.00	18,790.55	18,665.11	18,723.52	18,991.11
TOPIX		1,540.84	1,531.76	1,524.75	1,525.67	1,546.63
NYダウ工業材	k30種平均	17,856.78	17,995.72	17,662.94	17,635.39	17,895.22
NASDAQ		4,927.37	4,942.44	4,859.80	4,849.94	4,893.29
日本10年債		0.40%	0.44%	0.47%	0.42%	0.399
米国10年債		2.24%	2.19%	2.13%	2.11%	2.129
原油価格(W	TI)	49.61	50.00	48.29	48.17	47.05
金(NY)		1,167.19	1,167.15	1,161.85	1,155.31	1,153.68

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・来週は17~18 日の FOMC が最大の焦点となる。6 日に発表された米2月雇用統計の予想を上回る結果を受けて、今回の FOMC においてフォワードガイダンス文言の「忍耐強く(patient)」が削除される可能性が高まっている。例えば、今年 FOMC で投票権を持つ地区連銀総裁のうち、ラッカー・リッチモンド連銀総裁は「今回の雇用統計を受け、利上げ開始時期として6月が最適だ」と発言したほか、ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁も最近の講演において「年央までに利上げ開始を真剣に議論すべき」と述べている。しかも、2月24日に行われた上院銀行委員会における半期に一度の議会証言において、イエレン FRB 議長は「フォワードガイダンスの変更は、FOMCが2回の会合(in a couple of meetings)で必ず目標レンジを引き上げると解釈されるべきではないと強調することが重要だ」としている。従来、「忍耐強く(patient)」は今後2会合での変更はないと解釈することを否定しており、ここまでヘッジをした以上、今会合でフォワードガイダンス文言は削除される可能性が高いだろう。但し、実際の利上げ開始はデータ次第であり、中期でインフレ率が目標の2%へ上昇すると合理的な自信が持てるようになる必要があることを強調する公算が大きい。つまり、今会合では6月の利上げ決定に道を開きつつも、これまで通り、今後の政策決定はデータ次第であるとの基本原則は変わらず、今後は特に賃金やインフレ率の結果が重視されることになるだろう。
- ・米経済指標では、17 日(火)に 2 月住宅着工件数の発表がある。1 月の住宅着工件数は前月比▲2.0%の年率106.5 万件となり、3 か月移動平均では2008年2月以来の高水準であった12月から低下した。住宅着工の先行指標となる住宅着工許可件数は前月比横ばいでの推移が続いているほか、2 月の全米不動産業協会(NAHB)住宅市場指数は2か月連続で低下しており、2 月の住宅着工は前月比▲2.4%の年率104.0万件と予想されている。
- ・本邦では、18 日(水)に 2 月貿易収支が発表される。2 月上中旬(1~20 日)までの貿易統計によると、輸出は前年比▲0.6%となり、1 月上中旬の同+14.8%から一転して 6 か月ぶりのマイナスとなった。他方、輸入は同+9.9%と1 月上中旬の同▲2.3%から増加し、結果として貿易収支は▲1 兆 810 億円の赤字となっている。今年は中華圏の旧正月休暇が 2 月中旬(2 月 18~24 日)となったことで 1 月に前倒しされた輸出は反動減が 2 月に現れているとみられる。旧正月の影響を除くため 1~2 月の平均でみれば、上中旬の輸出は同+7.1%となっており、昨年 9 月以降に始まった輸出の回復が続いている。輸入は原油安により燃料輸入が減少する流れは継続しており、貿易赤字は縮小していく公算が大きい(市場予想の中心:▲1 兆 1190 億円)。

	本 邦	海 外
3月13日(金)	・1月鉱工業生産(確報)	・米2月生産者物価
		・米3月ミシガン大学消費者マインド(速報)
16日(月)		・米3月ニューヨーク連銀製造業景気指数
		・米1月 TIC レポート(対内対外証券投資)
		・米2月鉱工業生産
17 日(火)	・日銀金融政策決定会合(16 日~)	・米2月住宅着工
	•1月景気動向指数(確報)	・ユーロ圏 2 月消費者物価(確報)
		·独 3 月 ZEW 景況指数
18 目(水)	・2 月貿易収支	•FOMC(17 目∼)
	·金融経済月報	・ユーロ圏 1 月貿易収支
19日(木)		・米3月フィラデルフィア連銀景気指数
		·米2月景気先行指数
20 日(金)		・ユーロ圏 1 月経常収支

【当面の主要行事日程(2015年3月~)】

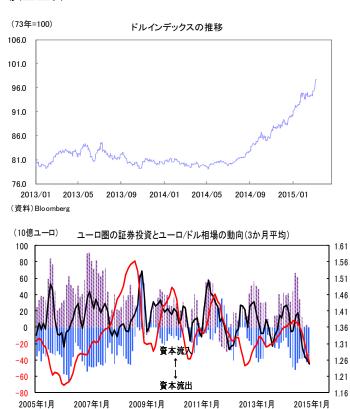
日銀金融政策決定会合(4月7~8日、4月30日、5月21~22日) 米 FOMC(4月28~29日、6月16~17日、7月28~29日) 欧州中銀理事会(4月15日、6月3日、7月16日) ユーロ圏財務相会合(5月11日) EU 経済・財務相(ECOFIN)理事会(5月12日) 英国総選挙(5月7日)

3. 米国はどこまでユーロ安を許容するのか~試される「強いドルは国益」~

通貨安政策としての機能を遺憾なく発揮するマイナス預金金利

昨日の為替相場ではドルインデックス(図)が 2003 年4月以来、12年ぶりに100を超えるという動きが見られた。主としてインデックスの 6 割弱を占める対ユーロでの急騰を受けた結果だが、ドル高を背景とする米企業決算の悪化ひいては米経済の減速を指摘する声が強まる中、今後の注目はユーロ圏(ECB)の露骨な通貨安誘導を米国がいつまで容認し続けるのかという点になるのではないか。

現状に関し、客観的な事実を指摘すれば、ユー 口圏は世界最大の経常黒字を稼ぎ、米国よりも相 対的に高い実質金利を誇り、筋論から言えば通貨 高が想定される。にもかかわらず、量的緩和(QE) 及びマイナス預金金利導入の余波で域内債券の 金利が軒並みマイナス化し、結果として域内から域 外への資本純流出が常態化している(図)。もちろ ん、FRB の正常化路線が寄与している部分も大き いが、どのような方便を使おうとも、マイナス預金金 利は通貨安政策以外の何物でもなく、物価は想定 外の動きが続きつつも、為替相場に関しては ECB の企図した結果が出ていると言える。本欄ではユ ーロ/ドル相場との高い相関に着目し、ユーロ圏の 対内・対外証券投資をネットアウトした資本純流出 入に注目してきた。図示されるように、昨年下半期 からの純流出拡大がユーロ相場急落と関係してい る可能性は高い。より具体的に言えば、純流出は 「マイナス金利を嫌気した対内証券投資の途絶」と

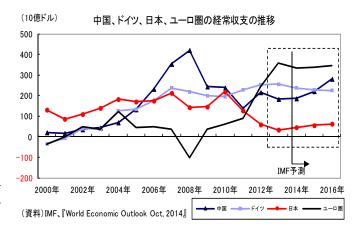


「内外金利差を捉えた対外証券投資の加速」の結果であり、QE やマイナス預金金利が通貨安政策としての機能を遺憾なく発揮した結果と考えられる。

(資料) Datastream

円安とユーロ安の違い

この点、「日本も量的・質的金融緩和(QQE)により通貨安誘導している」という批判もあるが、莫大な貿易赤字を背景に経常黒字が激減している円は通貨安になって然るべき通貨であり、ユーロ圏とは事情が異なる(図)。「歴史的な黒字を稼ぎつつ、歴史的な通貨安を享受する」という構図が異様なのであり、通常ならば米国から強い批判が入るべき状況にある。さらに言えば、ドイツを筆頭にユーロ圏全体では財政政策の発動余地を残しており、これが G20 等で批判の槍玉に挙がっていることは周知の通りである。ユーロ圏の現状をまとめれば、「経常黒字は莫大にあるものの、物価が低いので通貨安は手放せない。そのために金融緩和のアクセルは踏みたい。但し、健全性の観点から内需刺激のための財政出



対外証券投資

資本純流出入

ユーロ/ドル(右軸

対内証券投資

動は避けたい」といった状況にあって、諸外国から見れば、かなりわがままな財政・金融政策運営を行っている。

米国が文句言わない理由

1990 年代を振り返れば、日米貿易摩擦が激化し、日本の貿易黒字は超円高によって調整を迫られた。なぜ米国は今のユーロ圏の状況について、さほど強い批判をしないのだろうか。米国輸出の20%弱は欧州向けでありユーロ/ドル相場の急落は決して小さなことではないはずである。幾つか理由が考えられるが、①本気で欧州経済を

みずほ銀行 | みずほマーケット・トピック

世界経済のリスクと考えているため大目に見ている、②ロシアや中東関連の地政学リスクを踏まえれば欧州と対立するわけにはいかない、③まだ米経済としては目立った悪影響を被っていない、などが考えられる。恐らくどれもある程度は事実だろう。特に昨年(2014年)は②への気配りが相応に大きかった可能性はある。

当面に関しても、①や②に係る懸念はそう簡単に払拭されないと思われるが、③についての雲行きは大分怪しくなっている印象を受ける。冒頭述べたように、ドルインデックスは 1 年足らずのうちに 20%も上昇しており、既にその悪影響を懸念する向きが米国内で出始めている。昨日の日本経済新聞朝刊 7 面には『ドル高、米企業に打撃』及び『欧州企業には追い風』といった対象的な見出しが躍ったが、自国経済への悪影響が鮮明化する状況に至った場合、「強いドルは国益」のスタンスは封印せざるを得ないだろう。こうした状況下での早期利上げは自殺行為に近く、やはり早くて 9 月、順当にいって 12 月というのが関の山ではないだろうか。

それでも米国が自国の政策対応のタイミングを調整することで対応できている間はまだ良い。しかし、現状が極まっていけば、ECB の形振り構わない通貨安誘導に対し、為替政策報告書などで強い批判トーンを露わにする展開も十分想定される。その場合にユーロ圏が取り得る手段としては、まずはユーロ圏財務相会合や EU 経済・財務相(ECOFIN)理事会における大型財政出動の着手でアリバイ作りを行う可能性が考えられる。昨年 12 月、ユーロ圏財務相会合は 3000 億ユーロ規模の投資プロジェクトを発表したが、実態は欧州投資銀行(EIB)の 300億ユーロ原資に対して 10 倍のレバレッジを企図するというスキームであり、真水部分は極めて小さい。米国はドイツを筆頭に身銭を切る動きを求めるだろう。

究極的には、やはりユーロ安・ドル高の元凶であるマイナス金利解除も視野に入ってくる可能性はある。足許で注目を集める ECB の QE は「"quantitative(量)"は当初の期待に届いていない(1 月 ECB 理事会議事要旨)」というのがそもそもの導入理由となっており、この観点に照らせば超過準備から罰金を徴収するマイナス金利は本来、邪魔なものである。米国からの外圧をもって、これを解除する契機があるのであれば、何らかの地均し期間を経て、そのような決断があっても不思議ではなく、むしろ政策ロジックとしてはそちらの方が普通である。マイナス金利を前提とする「壮大な投機」は欧米間の経済外交の影響を多分に受け得るステージに入ってきていると考えておきたい。

以上

国際為替部 チーフマーケット・エコノミスト 唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065) daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

経済指揮カレンダー(2015年3日)

経済指標カレンダー(2015年3月)	, t	-42	+	*	週末
Э	<u> </u>	<u>水</u>	木	金	旭木
日本 労働力調査(1月) 日本 自動車販売台数(2月) 米国 建設支出(1月) 米国 国人所得・消費(1月) 米国 ISN製速業景気指数(2月) ユーロ圏 失業率(1月) ユーロ圏 消費者物価(速報、2月)	日本 マネタリーベース(2月)	#国 ISM非製造業景気指数(2月) 米国 米地区連銀経済報告(ページュブック)	9 米国 製造業新規受注(1月) ユーロ圏 ECB理事会 ドイツ 製造業受注(1月)	日本 景気動向搭数(連報、1月) 米国 雇用統計(2月) 米国 海教を(1月) 第3取を(1月) ユーロ圏 GDP(2次連報、10~12月期) ドイツ 鉱工業生産(1月)	
9 日本 GDP(2次連報、10~12月期) 日本 景気ウオッチャー調査(2月) 日本 企業倒産件数(2月) 日本 国際収支(1月) 日本 貸出・預金動向(2月) ユーロ圏 財務相会合 ドイツ 貿易収支(1月)	10 日本 マネーストック(2月) 米国 卸売売上高(1月) EU 経済・財務相(ECOFIN)理事会	11 日本 企業物価(2月) 日本 機械受注(1月) 米国 財政収支(2月)	12 日本 第三次産業活動指数(1月) 米国 小売売上高(2月) 米国 企業在庫(1月) ユーロ圏 鉱工業生産(1月)	13 日本 鉱工業生産(確報、1月) 米国 生産者物価(2月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(連報、3月)	
16	17	18	19	20	
日本 日銀金融政策決定金合(~17日) 米国 二ューヨーヴ連報製制産業費計報(3月) 米国 TICレポート(対内対外証券投資、1月) 米国 鉱工業生産(2月)	日本 景気動情数 (確報、1月) 米国 住宅新工(2月) 米国 FOMC(~18日) ユーロ圏 消費者物価(確報、2月) ドイツ ZEW景沢指数(3月)	日本 貿易収支(2月) 日本 金融経済月報 ユーロ圏 貿易収支(1月)	米国 フィラデルフィア連線景気指数(3月) 米国 景気先行指数(2月)	ユーロ圏 経常収支(1月) 27	日本 春分の日
米国 中古住宅販売(2月)	米国 消费者物価(2月) 米国 新築住宅販売(2月)	25 日本 企業向(ササービス価格(2月) 米国 耐久財受注(2月) ドイツ IFO企業景況感指数(3月)	20	27 日本 労働力調査(2月) 日本 家計調査(2月) 日本 家計調査(2月) 日本 東京都区部2番号名物価(2月) 日本 東京都区部3費者物価(3月) 日本 商業販売統計(2月) 米国 GDP(3次連報、10~12月期) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、3月)	
30 日本 鉱工業生産(速報、2月) 米国 個人所得・消費(2月)	31 日本 新設住宅着工(2月) 米国 S&P/ケース・シラー住宅価格(1月) 米国 清教者信頼総指数(3月) 米国 シカゴPM(3月) ユーロ圏 消費者物価(連報、3月) ユーロ圏 失業率(2月)				

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。

経済指標カレンダー(2015年4月)

経済指標カレンダー(2015年4月)					
月	火	水	木	金	週末
		日本 日銀短帳(3月調査) 日本 自動車販売台数(3月) 米国 ISM製造業景気指数(3月) 米国 建設支出(2月)	2 日本 マネタリーベース(3月) 米国 貿易収支(2月) 米国 製造業新規受注(2月)	3 米国 雇用統計(3月)	
6 日本 景気動向指数(連報、2月) 米国 ISM非製造業景気指数(3月)	7 日本 日銀金融政策決定会合(~8日) 米国 消費者信用残高(2月)	8 日本 景気ウォッチャー調査(3月) 日本 国際収支(2月) 日本 企業倒産件数(3月) 米国 FOM(議事要旨 ドイツ 製造業受注(2月)	9 日本 金融経済月報 米国 卸売売上高(2月) ドイツ 鉱工業生産(2月) ドイツ 貿易収支(2月)	10 日本 貸出・預金動向(3月) 米国 財政収支(3月)	
13	14	15		17	
日本 マネーストック(3月) 日本 企業物価(3月) 日本 機械受注(2月)	米国 小売売上高(3月) 米国 企業在庫(2月) 米国 生産者物価(3月) ユーロ圏 鉱工業生産(2月)	日本 鉱工業生産(価報。2月) 米国 米地区連額終済報告(ページュブック) 米国 TICレポート(対内対外証券投資、2月) 米国 ニューヨーク連級製造業兼気指数(4月) 米国 第二東土産(3月) ユーロ圏 ECB理事会 ユーロ圏 貿易収支(2月)	米国 フィラデルフィア連級景気指数(4月) 米国 住宅着工(3月)	米国 清費者物価(3月) 米国 景気先行指数(3月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、4月) ユーロ圏 経常収支(2月) ユーロ圏 消費者物価(確報、3月)	
日本 第三次産業活動指数(2月)	21 日本 景気動向指数(確報、2月) ドイツ ZEW景災指数(4月)	22 日本 貿易収支(3月) 米国 中古住宅販売(3月)	米国 新築住宅販売(3月)	24 日本 企業向けサービス価格(3月) 米国 耐久財受注(3月) ドイツ IFO企業景況感指数(4月)	
(注)* (注)* * (注)* * * * * * * * * * * * *	28 日本 商業販売統計(3月) 米国 S&P/ケース・シラー住宅価格(2月) 米国 FOMC(~29日) 米国 消費者信頼感指数(4月)	29 日本 昭和の日 米国 GDP(1次連報、1~3月期)	30 日本 新設住宅着工(3月) 日本 鉱工業生産(連報、3月) 日本 日銀金融政策決定会令 ->		

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。

http://www.mizuhobank	
発行年月日	過去6か月のタイトル
2015年3月12日	日銀の追加緩和はあるのか~払拭しきれない可能性~
2015年3月11日	3月レパトリ円高説について
2015年3月10日	なぜ為替と株価の相関が低下しているのか?
2015年3月9日	ECB理事会を終えて〜後ろめたさを見せたドラギ総裁〜
2015年3月6日	週末版
2015年2月27日	週末版
2015年2月26日	為替証拠金取引で外貨買いポジションが急増
2015年2月25日	イエレン議会証言を終えて〜年央利上げに言質与えず〜
2015年2月24日	円安シナリオをめぐる死角~リスク要因の点検~
2015年2月23日 2015年2月20日	ユーロ圏財務相会合を受けて~しばしの休息~ 国本版(知のECD議事専与のまな受けて、原内に除る発行物により
2015年2月20日	週末版(初のECB議事要旨公表を受けて〜歴史に残る発行物に〜) 本邦1月貿易収支について〜輸出増に過信は禁物〜
2015年2月19日	当面のギリシャ情勢に関する論点整理
2015年2月17日	ユーロ圏GDPや欧州委員会冬季経済予測を受けて
2015年2月17日	ユーロ回位で「V区が1安食者で子配が1760名と17C 本邦10~12月期頃DP(1次速報値)について
2015年2月13日	週末版(米国における雇用と物価の関係~デュアルマンデートの狭間で~)
2015年2月12日	イスタンブールG20を終えて〜為替と財政への含意〜
2015年2月10日	最近の対外証券投資とドル/円相場の関係について
2015年2月9日	本邦2014年国際収支状況を受けて~円買い復活?~
2015年2月6日	週末版
2015年2月4日	RBA利下げと今後の豪ドル相場の水準感について
2015年2月3日	独走するドイツの経常黒字が意味するもの
2015年2月2日	ユーロ圏12 月消費者物価指数(HICP)について
2015年1月30日	週末版
2015年1月29日	FOMCを終えて~どこまでドル高に寛容か?~
2015年1月28日	改めて確認する通貨・金融政策の立ち位置
2015年1月27日	2014年貿易収支と円相場~円安見通しのリスク~
2015年1月26日	米ドル建て投資信託が好調
2015年1月23日	週末版(ECB理事会を終えて~今後の鍵は「25%ルール」の行方~)
2015年1月22日	日銀金融政策決定会合~ハロウイシ・ロジックの行方~
2015年1月21日	ユーロ相場にまつわる資本フローについて
2015年1月20日 2015年1月19日	ECB理事会プレビュー~QE、4つのタイプ~
2015年1月19日	スイス関連のエクスポージャー〜BIS統計より〜 週末版(スイス国立銀行の政策決定について〜日本に突きつけられた「撤退戦の難しさ」〜)
2015年1月16日	週末版(スイス国立銀行の政策決定について~日本に矢さつけられた「撤退戦の難しさ」~) 本邦企業の海外進出と為替について
2015年1月13日	本が正来が過げ進出に過じる目に シン・
2015年1月13日	川方画原状を映画に『ビアグタドのグド西が区域による。 国末版(外貨準備構成通貨の内訳について(14年9月末時点)~ユーロ比率の大幅低下をどう読むか?~)
2015年1月8日	三十二次 三十二十二次 三十二次 三十二年 三十二次 三十二次 三十二次 三十二次 三十二次 三十二次 三十二次 三十二次 三十二十二次 三十二次 三十二次 三十二次 三十二次 三十二次 三十二次 三十二次 三十二次 三十二年 三
2015年1月7日	最近のユーロ相場に対する考え方
2015年1月5日	2015年、日米欧の3大コンセンサス
2014年12月26日	週末版
2014年12月25日	2015年の円相場~見通しのポイント~
2014年12月24日	2015年、最初のテーマはギリシャになるか?
2014年12月22日	ECB理事会、輪番制の解説
2014年12月19日	週末版
2014年12日10日	FOMC(12月17~18日開催分)を終えて
2014年12月18日	
2014年12月17日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~
2014年12月17日 2014年12月16日	2014年の値幅と来年への含意 ~ 「97-98年」との比較 ~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日	2014年の値幅と来年への含意 ~ 「97-98年」との比較 ~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係 ~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月12日	2014年の値幅と来年への含意 ~ 「97-98年」との比較 ~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係 ~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月12日 2014年12月11日	2014年の値幅と来年への含意 ~ 「97-98年」との比較 ~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係 ~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月12日 2014年12月11日 2014年12月10日	2014年の値幅と来年への含意 ~ 「97-98年」との比較 ~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係 ~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月12日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月12日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月8日	2014年の値幅と来年への含意 ~ 「97-98年」との比較 ~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係 ~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質質金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月12日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月8日 2014年12月5日	2014年の値幅と来年への含意 ~ 「97-98年」との比較 ~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係 ~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~)
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月8日 2014年12月5日 2014年12月4日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation (期待) 以上、target (目標) 未満のintention (意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月8日 2014年12月5日 2014年12月5日 2014年12月3日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月8日 2014年12月5日 2014年12月4日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation (期待) 以上、target (目標) 未満のintention (意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月12日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月8日 2014年12月5日 2014年12月4日 2014年12月4日 2014年12月3日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月12日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月8日 2014年12月4日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月2日 2014年12月1日	2014年の値幅と来年への含意 ~ 「97-98年」との比較 ~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係 ~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて ~ 週末版(ECB 理事会を終えて ~ expectation (期待) 以上、target (目標) 未満のintention (意思) ~)最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感 ~ 懸念は尚早だが・・・ ~ ECB 理事会 (12 月4 日) ブレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 医近のドラギ発言などを受けて ~ 金購入なども含め ~
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月15日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月8日 2014年12月5日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月2日 2014年12月1日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月26日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のアラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月12日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月1日 2014年12月5日 2014年12月4日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月2日 2014年12月1日 2014年11月28日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日	2014年の値幅と来年への含意 ~ 「97-98年」との比較 ~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係 ~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質質金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~ 円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~ expectation (期待)以上、target (目標)未満のintention (意思) ~)最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感 ~ 懸念は尚早だが・・・ ~ ECB 理事会 (12 月4 日) プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月1日 2014年12月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月28日 2014年11月26日 2014年11月26日 2014年11月26日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月15日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月5日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月1日 2014年12月1日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation (期待)以上、target (目標)未満のintention (意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 原油価格でする映調が目立つ
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月5日 2014年12月4日 2014年12月4日 2014年12月3日 2014年12月1日 2014年12月1日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月21日 2014年11月21日	2014年の値幅と来年への含意 ~ 「97-98年」との比較 ~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係 ~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質質金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと ~ 円安の是非を超えて ~ 週末版(ECB 理事会を終えて~ expectation (期待) 以上、target (目標)未満のintention (意思) ~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感 ~ 懸念は尚早だが・・・ ~ ECB 理事会 (12 月4 日) プレビュー原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて ~ 金購入なども含め ~ GPIFの売買余地や基礎的需給 への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 寒ドル資産の軟調が目立つ 遠去の円安局面と違う2つの要素 ~ 実質金利と需給 ~
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月5日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月2日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月21日 2014年11月21日 2014年11月20日 2014年11月20日 2014年11月20日 2014年11月18日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質質金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 豪ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦7~9月期GDP~続く所得面の悪化~
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月1日 2014年11月1日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 豪ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦7~9月期GDP~続、所得面の悪化~ 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~)
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月15日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月5日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月1日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月18日 2014年11月18日 2014年11月18日 2014年11月11日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について〜混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 調末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 豪ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦7~9月期切りへ続く所得面の悪化~ 週末版(2周年を迎えたアベミクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月1日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月21日 2014年11月21日 2014年11月21日 2014年11月21日 2014年11月21日 2014年11月21日 2014年11月17日 2014年11月17日 2014年11月17日 2014年11月11日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質質金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 実ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦3「9月期GDP~続く所得面の悪化~ 週末版(2周年を迎えたアベノミクスへのが変わったのか~) 本邦9月期際収支統計などについて 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月5日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月20日 2014年11月20日 2014年11月20日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月10日 2014年11月10日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質質金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 豪ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦7~9月期GDP~続く所得面の悪化~ 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本本9月国際DP~続く所得面の悪化~ 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本本19月国際ロ東文統計などについて 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 週末版(ECB理事会を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~)
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 家ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦7~9月期GDP~続く所得面の悪化~ 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~)
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月15日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月1日 2014年12月1日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月26日 2014年11月10日 2014年11月10日 2014年11月10日 2014年11月11日 2014年11月10日 2014年11月10日 2014年11月10日 2014年11月7日 2014年11月7日 2014年11月7日 2014年11月7日 2014年11月7日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について〜混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと〜円安の是非を超えて〜 週末版(ECB 理事会を終えて〜expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)〜) 最近のユーロバル相場について 「日本売り」に対する所感へ懸念は尚早だが・・・〜 ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて〜金購入なども含め〜 GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 豪ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素〜実質金利と需給〜 本邦7〜9月期GDP〜続く所得面の悪化〜 週末版(2周年を迎えたアベノミクス〜何が変わったのか〜) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 週末版(ECB理事会を終えて〜正式に始まった「量」への挑戦〜) 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス ECB理事会プレビュー〜現状維持を予想〜
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 家ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦7~9月期GDP~続く所得面の悪化~ 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~)
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月3日 2014年12月4日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月1日 2014年12月2日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月1	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について〜混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル連て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと〜円安の是非を超えて〜 週末版任CB 理事会を終えて〜expectation 期待) 以上、target (目標)未満のintention (意思)~) 最近のユーハドル相場について 「日本売り」に対する所感〜懸念は尚早だが・・・〜 ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて〜金購入なども含め〜 GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクス〜管ち受けるもの 週末版 豪ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素〜実質金利と需給〜 本邦7〜9月期GDP〜続く所得面の悪化〜 週末版(2周年を迎えたアベノミクス〜何が変わったのか〜) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】「中期為替相場見通し』の臨時改訂 週末版(ECB理事会を終えて〜正式に始まった「量」への挑戦〜) 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス ECB理事会を終えて〜正式に始まった「量」への挑戦〜)
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月9日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月20日 2014年11月20日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賞金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロパル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 豪ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦7~9月期の日を過えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本末9月国際収支統計などについて 【特別版】「中期為替相場見通し」の臨時改訂 週末版(20周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】「中期為替相場見通し」の臨時改訂 週末版(20周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】「中期為替相場見通し」の臨時改訂 週末版(20周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】「中期為替相場見通し」の臨時改訂 週末版(20周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】「中期為替相場見通し」の臨時改訂 週末版(20周年を迎えたマベノ・アンス) 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 週末版
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月1日 2014年12月1日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月1日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質資金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日) プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 豪ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦9月期GDP~続く所得面の悪化~ 週末版(2周年を迎えたアベノミクスへ何が変わったのか~) 本邦9月関防収支統計などについて 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 週末版(ECB理事会を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス ECB理事会プレビュー~現状維持を予想~ 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 週末版 FOMC、声明文を受けて(10 月28~29 日開催分) カバードボンド購入額をどう読むか? 欧州ストレステストを受けて~本当の勝負はこれから~
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月15日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月26日 2014年11月26日 2014年11月1日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年11月3日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙を注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賞金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(医路 理事金を終えて~※pectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事金を終えて~を要念はは一年だが・・・~ ECB 理事金を終えて~を実践のは一年だが・・・~ ECB 理事金を終えて~を実践のは一年だが・・・・ 展油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散後選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 豪ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦7~9月期GDP~総が、所得面の悪化~ 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】「申財為替相場見通し」の庭時改訂 週末版(ECB理事金を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス ECB理事金を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス ECB理事金を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 到本版(ECB理事金を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 到本版(ECB理事金を終えて~正式に始まった「量」のの挑戦~) 到本版(ECB理事金を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 到本版(ECB理事金を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 到本版を受力レビューへ現状維持を予想~ 日銀金融政策決定金合(10月31日開催分) 週末版(EOMで、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で、日本で、日本
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月1日 2014年12月1日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月1日 2014年10月21日 2014年10月28日 2014年10月28日 2014年10月27日	2014年の値幅是来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質資金と交易条件そして円安の関係 今、敦えて考える円高リスク 一円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版[CB 理事会を終えて~expectation (期待) 以上、target (目標) 未満のintention (意思) ~) 最近のユーロ・ドル相場について 「日本売りに対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ CPFIでの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 豪ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦7~9月期のDP~続く所得面の悪化~ 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】『中期為替相境見通し』の臨時改訂 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて 【特別版】『中期為替相境見通し』の臨時改訂 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~可が変わったのが率) 1 国銀融版で民理事会を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス ECB理事会プレビュー~現状維持を予想~ 日銀金融政策決定会会(10月31日開催分) カバードボンド購入額をどう読むか? 欧州ストレステストを受けて~本当の勝負はこれから~ 週末版(ユーロ圏PMI や域内のスラック(弛み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) ECB 社債購入を巡る3 つの問題点
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月1日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年10月31日 2014年10月31日 2014年10月27日 2014年10月27日 2014年10月27日 2014年10月23日 2014年10月23日	2014年の値幅と来年への含意 ~ 197-98年」との比較 ~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係 ~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産強に関し思うこと~円安の是非を超えて ~ 週末版(ECB 理事会を終えて~ ※ ※ を
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月16日 2014年12月16日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月3日 2014年12月4日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月1日 2014年12月2日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月10日 2014年11月10日 2014年11月10日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月1日日 2014年11月1日日 2014年11月1日日 2014年11月1日日 2014年11月1日日 2014年11月1日日 2014年11月30日 2014年10月31日 2014年10月31日 2014年10月31日 2014年10月21日 2014年10月28日 2014年10月28日 2014年10月28日 2014年10月22日 2014年10月22日 2014年10月22日	2014年の値幅と来年への含意 ~ 「97-98年」との比較 ~ 最近の原油安について~混同しがちな因果関係 ~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月5日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月20日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月31日 2014年11月31日 2014年11月31日 2014年10月31日 2014年10月27日 2014年10月27日 2014年10月27日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について〜湿同しがちな因果関係〜 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質賃金と交易条件そして円安の関係 今、飲えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと〜円安の是非を超えて〜 週末版(ECB 理事会を終えて〜expectation (期待)以上、target (目標)未満のintention (意思)〜) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感〜懸念は尚早だが・・〜 ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて〜金購入なども含め〜 GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散終選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末の一般を必要を終えて〜変要へ実質金利と需給〜 本邦ハ〜月別GDP〜総長所得面の悪化〜 週末版(2周年を迎えたアベノミクス〜何が変わったのか〜) 本邦リ国際即で会談所得面の悪化〜 週末版(2周年を迎えたアベノミクス〜何が変わったのか〜) 本邦の自国際収支統計などについて (特別版)「中期急替相場見通し」の臨時改訂 週末版(ECB理事会を終えて〜正式に始まった「量」への挑戦〜) 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス ECB理事会プレビュー〜現状維持を予想〜 日超金融政策決定会合(10月31日開催分) 別末版 FOMC 声明文を受けて(10月28〜29日開催分) カバードボンド購入額をどう読むか? 欧州ストレステストを受けて(10月28〜29日開催分) カバードボンド購入額をどう読むか? 欧州ストレステストを受けてへ本当の勝負はこれから〜 週末版(コーロ圏PMI や域内のスラック(弛み)について〜インフレ率が上がらない構造的背景〜) ECB 社債債人を巡る3つの問題点 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月16日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月1日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月2日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年11月3日 2014年10月30日 2014年10月21日 2014年10月22日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月20日 2014年10月20日 2014年10月20日 2014年10月20日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~湿向しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質置金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation (期待) 以上、target (目標) 未満のintention (意思) ~) 最近のユーロバル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドルユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 頻散総選挙後のアベスシクスを待ち受けるもの 週末版 豪ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦7-9月期GDP~続く所得面の悪化~ 週末版(国毎年を迎えたアベスシクス~何が変わったのか~) 基末版(国毎年を迎えたアベスシクス~何が変わったのか~) 本邦の月面彫り攻支統計などについて 「特別版]「中期為替相場見通」」の臨時改訂 国本版(EDB 理事会ではこて)で 国本版で日野中文を続けるて~正式に対まった「量」への挑戦~) 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス ECB理事会フレビュー~現状維持を予想~ 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 週末版 FOMC 専明文を受けて(10月38~29日開催分) カバードボンド購入額をどう読むか? 欧州ストレステストを受けて~本当の勝負はこれから~ 週末版(コーロ圏M) や岐内のスラッグ(砂み) について~インフレ率が上がらない構造的背景~) ECB 社債購入を巡る3 つの問題点 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2014 年9 月分) 週末版(不同人投資家の対外資金フロー動向(2014 年9 月分)
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月16日 2014年12月16日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月3日 2014年12月4日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年11月2日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月20日 2014年11月10日 2014年11月10日 2014年11月10日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月31日 2014年11月31日 2014年10月31日 2014年10月23日 2014年10月28日 2014年10月28日 2014年10月29日 2014年10月20日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~湿同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質質金と交易条件そして円安の関係 今、敗えて表える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロバル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・~ ECB 理事会(12月4日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドデ発音などを受けて~金購入なども含め~ CPFIの売買余地や基礎的需給への影響などについて 機散設選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 豪ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦ハ・9月期GDP~様(所得の悪化~ 本邦ハ・9月期GDP~様(所得の悪化~ 本邦ハ・9月期GDP~様(所得の悪化~ 本邦ハ・9月期GDP~様(所得の悪化~ 本邦の・9月期GDP~様(所得の悪化~ 本邦の・9月期GDP~様(所得の悪化~ 本邦の・9月期GDP~様(所得の悪化~ 国末版(EB理事会を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス ECB理事会プレビューへ実現、維持をデモー 日超金融政策決定会合(10月31日開催分) カバードボンド購入福をどう読むか? 取州ストレステストを受けて(10月28~29日開催分)カバードボンド購入福をどう読むか? 取州ストレステストを受けて(10月28~29日開催分)カバードボンド購入福をどう読むか? 服内の上のステストを受けて、本当の勝負はこれから~ 週末版(ユーロ圏PMI や域内のスラック、徳・み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) ECB 社(債債人 不)の問題点 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 本邦個人及資家の対外資金フロー動向(2014年9月分) 週末版(英家の対外資金フロー動の反応イメージについて 本邦個人投資家の対外資金プロー動向(2014年9月分) 週末版(米る替政策報告書について~ドル)内を選定な水準まで調整へ~
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月20日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月11日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月30日 2014年11月30日 2014年10月30日 2014年10月23日 2014年10月23日 2014年10月23日 2014年10月22日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~湿同しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質質金と交易条件そして円安の関係 今、敗えて表える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロバル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・~ ECB 理事会(12月4日)プレビュー 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドデ発音などを受けて~金購入なども含め~ CPFIの売買余地や基礎的需給への影響などについて 機散設選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 豪ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦ハ・9月期GDP~様(所得の悪化~ 本邦ハ・9月期GDP~様(所得の悪化~ 本邦ハ・9月期GDP~様(所得の悪化~ 本邦ハ・9月期GDP~様(所得の悪化~ 本邦の・9月期GDP~様(所得の悪化~ 本邦の・9月期GDP~様(所得の悪化~ 本邦の・9月期GDP~様(所得の悪化~ 国末版(EB理事会を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス ECB理事会プレビューへ実現、維持をデモー 日超金融政策決定会合(10月31日開催分) カバードボンド購入福をどう読むか? 取州ストレステストを受けて(10月28~29日開催分)カバードボンド購入福をどう読むか? 取州ストレステストを受けて(10月28~29日開催分)カバードボンド購入福をどう読むか? 服内の上のステストを受けて、本当の勝負はこれから~ 週末版(ユーロ圏PMI や域内のスラック、徳・み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) ECB 社(債債人 不)の問題点 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 本邦個人及資家の対外資金フロー動向(2014年9月分) 週末版(英家の対外資金フロー動の反応イメージについて 本邦個人投資家の対外資金プロー動向(2014年9月分) 週末版(米る替政策報告書について~ドル)内を選定な水準まで調整へ~
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月16日 2014年12月16日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月3日 2014年12月4日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年11月2日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月20日 2014年11月10日 2014年11月10日 2014年11月10日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月31日 2014年11月31日 2014年10月31日 2014年10月23日 2014年10月28日 2014年10月28日 2014年10月29日 2014年10月20日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月21日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油安について~湿向しがちな因果関係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質置金と交易条件そして円安の関係 今、敢えて考える円高リスク 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation (期待) 以上、target (目標) 未満のintention (意思) ~) 最近のユーロバル相場について 「日本売り」に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下落が円・ドルユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 頻散総選挙後のアベスシクスを待ち受けるもの 週末版 豪ドル資産の軟調が目立つ 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦7-9月期GDP~続く所得面の悪化~ 週末版(国毎年を迎えたアベスシクス~何が変わったのか~) 基末版(国毎年を迎えたアベスシクス~何が変わったのか~) 本邦の月面彫り攻支統計などについて 「特別版]「中期為替相場見通」」の臨時改訂 国本版(EDB 理事会ではこて)で 国本版で日野中文を続けるて~正式に対まった「量」への挑戦~) 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス ECB理事会フレビュー~現状維持を予想~ 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 週末版 FOMC 専明文を受けて(10月38~29日開催分) カバードボンド購入額をどう読むか? 欧州ストレステストを受けて~本当の勝負はこれから~ 週末版(コーロ圏M) や岐内のスラッグ(砂み) について~インフレ率が上がらない構造的背景~) ECB 社債購入を巡る3 つの問題点 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2014 年9 月分) 週末版(不同人投資家の対外資金フロー動向(2014 年9 月分)
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月15日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月9日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月20日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月5日 2014年11月5日 2014年11月5日 2014年11月5日 2014年10月30日 2014年10月30日 2014年10月23日 2014年10月23日 2014年10月23日 2014年10月12日 2014年10月12日 2014年10月11日 2014年10月11日 2014年10月11日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月16日 2014年10月19日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油型について〜温田しがちな母果側係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 使在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質質金と交易条件そして円安の関係 今、敗えて考える円高リスクー つ、ウ、政えで表えの円高リスクー 円安側産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 温末版(CB 理事会を終えて〜expectation(別待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~悪念は尚早だが・・~ ECB 理事会(12 月4 日)ブレビュー 原油価格下湯が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて〜金鵬人なども含め~ CPFの売買余地や基礎的業への影響などについて 解散診選挙後のアベジウスを待ち受けるもの 週末版 条ドル資産の軟調が目立つ 過去の円支房面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦の口管を通えたアベジウス~何が変わったのか~) 地末の同年を迎えたアベジウス~何が変わったのか~) 地末原国際収支統計などについて (特別版)「中期為替相場見通し」の臨時改訂 週末版(CB 日本の大・ア・ボラクス・同が変わったのか~) 出来版に国中を迎えたアベジウス~何が変わったのか~) 出来が同日際型素を終えて一まてに始まった「量」への挑戦~) 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス とCG 理事会プレビュー・現状維持を予想~ 日報金融設変発金会を(10月31日開催分) 週末版(CB 日本の大・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月16日 2014年12月11日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月10日 2014年12月1日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月1日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月21日 2014年11月11日 2014年11月20日 2014年10月20日 2014年10月20日 2014年10月21日 2014年10月21日 2014年10月11日	2014年の値順と来年への含意~「97-88年」との比較〜 最近の原地安について〜湿向しがちな因果関係〜 衆院選挙後と注目はポリシーミックスの持続性 週末版 健在だったドル建て日軽平均株価「150ドル」の壁 実質質金と交易条件そして円安の関係 く、致えて考える円高リスク 円安削崖報道に関し思うこと〜円安の是非を超えて〜 週末版(ECB 理事会を終えて〜expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)〜) 最近のユーロバル相場について 「日本売り」に対する所感へ懸念は同草だが・・〜 ECB 理事会(12 月4 日)プレビュー 原油価格下窓が円・ドル・ユーロに与える影響について 規末版 最近のドラギ発言などを受けて〜金膜人なども含め〜 GPFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 週末版 最近の月安局面と違う2つの要素〜実質金利と需給〜 本邦シの月知間の中へ続く所得面の悪化〜 週表版(回程を迎えたアベノミクスへ何が変わったのか〜) 本邦の月国際収支統計などについて (特別版) 中期 会替相場見通し」の臨時改訂 週末版にGB 理事会を終えて〜正式に始まった「量」への挑戦〜) 当面は温存されそうな実現で可能ながリンーミックス ECB 理事会プレビュー〜現状維持を予想〜 日超金融版政策決会会(10月31日開催分) 週末版 アのM 声明文を受けて(10 月28〜29 日開催分) カバードボント購入額をごう読むか? 取州ストレステストを受けて〜本当の勝負はこれから〜 図書版に「中国PM や域内のスラック(始み)について〜インフレ率が上がらない構造的背景〜) ECB 社債購入を巡る3 つの問題点 別表点の「中国PM や域内のスラック(始み)について〜インフレ率が上がらない構造的背景〜) ECB 社債購入を巡る3 つの問題点 別表点の「カスラカであれずりのスラック(かみ)について〜インフレ率が上がらない構造的背景〜) にB 社債購入を巡る3 つの問題。 別対点の消費を設けて、本当の勝負はこれから〜 図書版に「ルファストと受けて〜本当の勝負はこれから〜 図書版で、ルファストと受けて〜本当の勝負はこれから〜 図書版で、ルファストと受けて、本当の勝負はこれから〜 関連品が高り表の対外資金フロー助向(2014 年9 月分) 道末版下ルンボットルに同じの関とが成れずに対して、 本が個人投資家の対外資金フロー助向(2014 年9 月分) 道末版下ルが、新入フログラム (CBPD)3 などについて 本が個人投資家の対外資金フロー助向(2014 年9 月分) 道末版下ルが、所入フログラム (CBPD)3 などについて 本が個人投資家の対外資金フロー助向(2014 年9 月分) 道末版下ルが、新入フログラム (CBPD)3 などについて 本が日本が表が日本が生産を必然で、一部では、 第二ないが、ルフログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ
2014年12月17日 2014年12月16日 2014年12月16日 2014年12月11日 2014年12月10日 2014年12月9日 2014年12月9日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年12月3日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月27日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月1日 2014年11月5日 2014年11月5日 2014年11月5日 2014年10月30日 2014年10月30日 2014年10月23日 2014年10月23日 2014年10月23日 2014年10月21日 2014年10月16日 2014年10月19日	2014年の値幅と来年への含意~「97-98年」との比較~ 最近の原油型について〜温田しがちな母果側係~ 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 週末版 使在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 実質質金と交易条件そして円安の関係 今、敗えて考える円高リスクー つ、ウ、政えで表えの円高リスクー 円安側産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 温末版(CB 理事会を終えて〜expectation(別待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 最近のユーロ/ドル相場について 「日本売り」に対する所感~悪念は尚早だが・・~ ECB 理事会(12 月4 日)ブレビュー 原油価格下湯が円・ドル・ユーロに与える影響について 週末版 最近のドラギ発言などを受けて〜金鵬人なども含め~ CPFの売買余地や基礎的業への影響などについて 解散診選挙後のアベジウスを待ち受けるもの 週末版 条ドル資産の軟調が目立つ 過去の円支房面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 本邦の口管を通えたアベジウス~何が変わったのか~) 地末の同年を迎えたアベジウス~何が変わったのか~) 地末原国際収支統計などについて (特別版)「中期為替相場見通し」の臨時改訂 週末版(CB 日本の大・ア・ボラクス・同が変わったのか~) 出来版に国中を迎えたアベジウス~何が変わったのか~) 出来が同日際型素を終えて一まてに始まった「量」への挑戦~) 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス とCG 理事会プレビュー・現状維持を予想~ 日報金融設変発金会を(10月31日開催分) 週末版(CB 日本の大・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア